

令和6年7月18日

稲武地域会議
会長 三江 元博 様

豊田市長 太田 稔彦

検討結果報告書

地方自治法（昭和22年法律第67号）第202条の7第2項の規定に基づき諮問し、答申を受けたことについて、下記のとおり報告します。

記

- 1 報告事項 令和5年12月21日に稲武地域会議から受けた『(仮称)ミライ構想』のめざす姿やまちづくりの基本的な考え方、都市構造に関する答申についての検討結果は別紙のとおり
- 2 主管課名 企画政策部 企画課、都市計画課

稲武地域会議からの答申に対する検討結果

1	答申内容	『めざす姿』について 総論として違和感はなく、妥当であると判断します。 ただし、社会環境の変化により常に施策の見直しを前提としているため、見直し時には丁寧な地域への聞き取りなどを行い、地域が抱える課題等の実情と市の施策「(仮称)ミライ実践戦略2030」が乖離することがないように計画に反映される体制づくりをお願いします。
	市の考え	ご意見のとおり、「(仮称)ミライ実現戦略2030」については、地域の実情や社会情勢の変化を常に捉えながら、見直すことができる計画として策定していきます。 社会課題、地域課題の把握、反映については、毎年度計画のローリングを行うことで、施策の妥当性を検証していくことを想定しています。
2	答申内容	『まちづくりの基本的な考え方』について 第8次総合計画で示していた「リニア中央新幹線開業を見据えたまちづくりの考え方」を継承しつつ、広域での豊田市のポジショニングの形成に向けて取り組んでいただきたい。特に、リニア中央新幹線利用者が中津川市、飯田市から豊田市へアクセスしやすい移動方法の検討は不可欠要素であると考えているため、広域連携も視野に入れた計画となるよう要望します。
	市の考え	リニア中央新幹線などの基盤整備が進む中、圏域や日本経済の飛躍を担う本市の役割を意識した取組が必要だと考えています。 広域でのアクセスしやすい移動方法等の視点については、期成同盟会を始め、必要に応じて検討を進めます。

	答申内容	<p>『都市構造』について 都市構造については「(仮) えきちか居住誘導エリア」など都市部中心のイメージが強いため、山村部のまちづくりが見えてくるような表現についても検討していただくよう要望します。</p>
3	市の考え	<p>暮らしの質を将来にわたって維持・向上させていくためには、都市部だけではなく山村部のまちづくりも重要であると認識しています。 ご意見を参考に、将来都市構造の実現に向けた方針の中で示していく考えです。</p>